

キクメイシモドキ

Oulastrea crispata (Lamarck)

イシサンゴ目キクメイシ科

石川県カテゴリー 準絶滅危惧

国カテゴリー なし

選定理由

造礁サンゴの仲間では能登半島が世界の群生分布の北限地であり、学術上貴重である。

形態

殻皮状またはかたまり状の群体をつくり、骨格はチョコレート色か紫黒色。莖の直径は5mm位で、莖と莖との間には溝があるか結合する。ポリプは緑褐色。

国内分布

日本海沿岸は新潟県以南、太平洋沿岸は館山湾以南に分布する。

県内分布

能登半島の内浦海岸、能登町から七尾市（七尾北湾と南湾）にかけて分布し、九十九湾と九里川尻湾に群生地がある。外浦海岸では志賀町の福浦と大島に生息する。

生態

内湾の潮間帯から水深3mほどの潮下帯の岩上に見られる。群体の長径は5cm前後のものが多く、昼間でもポリプを開いていることがある。

生息地の条件

陸からの砂泥の流入が激しくないこと。

生存の危機

以前は釣り餌のイワムシ捕りの影響で付着基盤を含む破壊が顕著であったが、現在は埋め立てや道路造成などによる生息環境の変化が懸念される。

特記事項

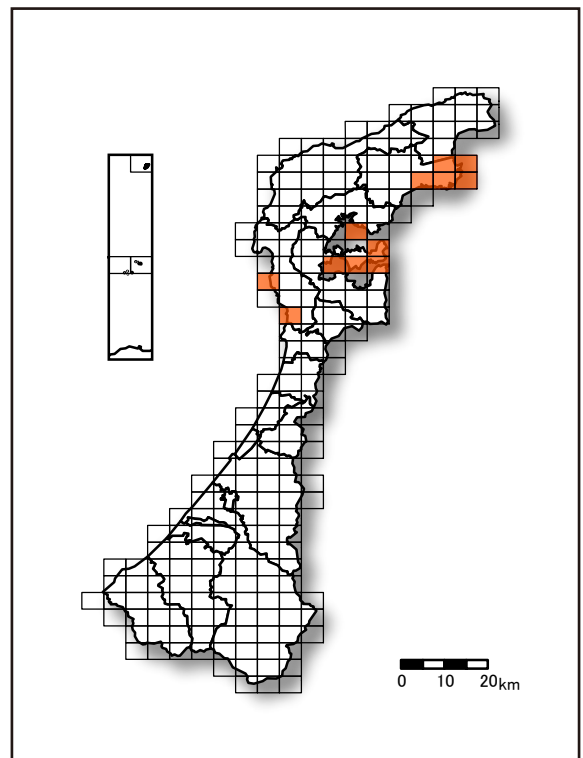
造礁性イシサンゴ類の中では水温10℃以下でも生育し、低温耐性がある。

参考文献

矢島孝昭・佐野修・岡本武・白井芳弘・新谷力・又多政博. 1986. 能登九十九湾周辺海域におけるキクメイシモドキ *Oulastrea crispata* (Lamarck) の生態分布
Veron, J. E.N., 1992. Hermatypic Corals of Japan.



写真提供者：岡本武



県内の分布